

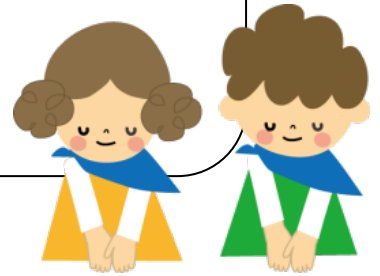


商工会だより

平成28年度 第1号
発行所:京北商工会

平成 28 年度の事務局体制です。

- ☆事務局長 寸田 寿 (総務課)
- ☆経営支援員 田中 尚樹 (経営支援課)
- ☆経営支援員 藤原 昌美 (経営支援課兼総務課)
- ☆経営支援員 花倉 祥代 (経営支援課)
- ☆記帳指導員 上野 寿彦 (経営支援課)



退職ごあいさつ

私事ですが、平成28年3月末をもちまして退職させていただきました。
在職中はいろいろと会員の皆様方にはお世話になり心より感謝申し上げ、厚く御礼申し上げます。
京北について何もわからないまま嫁いできましたが、ご縁があって京北商工会にお世話になり会員の皆様や地域の皆様には何かと親切にいただき、顔を覚えていただいたこの3年間は、貴重な経験をさせていただき充実した期間となりました。多くの方々と出会えたことは私の大切な財産になりこれからの京北での人生において大いに役立つことと思っております。
最後になりましたが、京北商工会のご発展と皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、御礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

小野 裕子



～ 平成28年度通常総代会のお知らせ ～

☆日時 平成28年5月24日 (火)

午前10時より

☆場所 京北商工会館

総代の皆さまはご出席いただきますよう

よろしく願いいたします。



平成 27 年度

地域振興・広域連携推進事業委員会ご報告

☆京北地域観光産業活性化事業

商工会では新たな地域産業として、京北独自の観光産業を作り上げるためにまず、教育旅行の受入態勢の確立と外国人観光客の農家受入を試験的な取組みとする目的で従来から事業に取り組んできました。

<本年度事業として>

- ①教育旅行に必要なアイテムとしてパンフレットを仕上げる。
- ②主な旅行業者と学校へのPR活動。
- ③民泊協議会の設立と登録農家の掘り起し。
- ④地域マネジメント運営組織の立ち上げ。

を実施するべく、地域振興・広域連携推進事業委員会を立ち上げ事業内容について再度検討を行いました。その結果、受入すべき登録民家が十分でなく、また認可登録についても京都市の農家民泊制度による一定基準の設備投資も必要でありハードルクリアが難しい状況も出てきたため、体制が出来ないままの営業活動は出来ないと、実施内容についての修正確認を行い、以下の事業に取り組みました。



委員会メンバーで京北地域で旅行業を目指し、試験的に取り組んだ外国人観光客インバウンドの手応えも大きかったことから、外国人観光客に特化した観光BOOKの作成を行いました。委員会で検討を行い、実際京北へ訪れられる外国人観光客への情報収集等により、外国人目線での外国人が興味を持つ写真や風景をふんだんに盛り込んだ写真集風の今までにない冊子に仕上げました。

今後ホテル、タクシー会社、観光案内所等、外国人の目につきやすい場所への設置を進め、京北自体の知名度アップ及び観光流入の増加を図ります。

<期待する効果>

- ①外国人観光客に特化した京北紹介冊子「SATOYAMA STYLE」は、いち早く外国人向けに里山をPRすることにより、SATOYAMA=KEIHOKU（里山と言えば京北）的なイメージを外国人に認知してもらいたい。
- ②冊子からホームページ誘導により、多くの外国人の方への情報伝達が可能となり、また外国人観光客同士のネットワークによる口コミも大きい。
- ③日本語表記も併用しており、設置場所を検討することで日本人観光客についてもPR効果を期待。



労働保険事務組合に
加入されている会員様は
事務局よりご案内をしています
お忘れのないようお願いします

平成 28 年度労働保険年度更新について

労働保険料の申告納付は、本年は 6 月 1 日から 7 月 11 日
(土日祝は除く) までをお願いします。

- 電子申請をぜひご利用ください。
- 納付には口座振替が便利です。

お問合せ先 京都労働局総務部労働保険徴収課
〒601-0846 京都市中京区両替町通
御池上ル金吹町 4 5 1
TEL 075-241-3213 FAX 075-241-3233

最終のご案内(5/20締切) お問い合わせは商工会まで TEL 075-852-0348

□商談会の日程

平成 28 年 5 月 26 日 (木)
京北商工会館 2 階会議室

□物産展の日程

平成 28 年 7 月 16 日 (土) ~18 日 (月)
イオン京都五条店 1 階食品売場催事場

**出店ブース料
無料!**



編集後記

稲盛和夫氏のフィロソフィーシリーズ(笑)

「素晴らしい人生をおくる」から「夢を描く」です。稲盛氏はこうおっしゃいます。

現実 is 厳しく、今日一日を生きることさえ大変かもしれません。しかし、その中でも未来に向かって夢を描けるかどうかで人生は決まってきます。自分の人生や仕事に対して、自分はこうありたい、こうなりたいという大きな夢や高い目標を持つことが大切です。高く素晴らしい夢を描き、その夢を一生かかって追いつけるのです。それは生きがいとなり、人生もまた楽しいものになっていくはずで

す。「夢」があって実現に向けて考えたり行動したりしながら、常に迷いがある自分がいます。迷いはそのまま不安になり……。でもそればかりではないです。喜びにもなりきつと稲盛氏がおっしゃるよう生きがいにもなり、人生が豊かになると信じたいです。

S. H

商工会だよりに関するお問い合わせは京北商工会まで

TEL 075-852-0348 FAX 075-852-1173

URL <http://keihoku.sakura.ne.jp/> メール keishoko@skyblue.ocn.ne.jp